



【教育目標】 自ら学び正しく判断して行動する国際性豊かな児童生徒の育成を  
一人一人が輝く子どもの姿を求めて

☆1月の目標  
☆学習をがんばろう  
☆みんなと  
なかよくしよう  
☆笑顔で

☆配布物のお知らせ  
1 学校便り  
☆保護者の会から  
☆今後の行事計画  
1月13日 高校説明会  
1月20日 避難訓練  
2月10日 入園説明会  
3月17日 卒園式・卒業式

☆六年一組 「この絵、私はこう見る」

近藤 和暉

「ウキー！」と仲間を呼ぶ猿がいるこの熱帯は、にぎやかで、毎日が楽しそうで、とても美しい。自分もサル達の仲間入りをした気分になる。細かい毛の先から大きな空まで、華やかに描かれている。同じような色も、きつと気の遠くなるような調子を重ねてちがいを出しているのだろう。光とかけもとでもリアルで、もはや絵というより写真に近い。この絵は、アンリ・ルソー作の「猿のいる熱帯の森」という絵だ。ぼくは予想だが、この絵の背景には、木にぶら下がっておもいっきり遊んでいる猿や、岩にすわり考えごとをしているおじいさん猿、足を水につけて涼む猿などが、人の手の入らないジャングルで夏を楽しむんでいる。どうだろう。このお話に近いものを、あなたも想像したのではないだろうか。だがぼくは、この作品の裏には、何かメッセージがあると思う。よく見ていると、猿たちは何だか少しさみしそうな顔つきをしている。さらにこの絵のおくを見てみると、山みたいな所があり、木々がない。ぼくは、これは人間達による森林破壊、自然環境などを示していると思う。つまり、この絵全体で作者が伝えたかったことは、「動物の住処を守っていかなくてはいけない。」ということなんだと思う。この絵の作者は、心優しい動物愛護の心を持っている、すばらしい人にちがいない。

☆六年一組 「この絵、私はこう見る」

村重 太陽

雲一つ無い青空。緑に仕上げた木々や色とりどりの花々。ここは動物の楽園だ。ジャングルの外の方では、サルが木にぶら下がったり、体操選手のようにクルクルと回転している。手前では、赤毛のサルが石にすわり、まるでモデルのようなポーズをとっている。絵の左側に目を向けると、1ぴきのへびと2ひきのサルが、かくれんぼをしている様に見える。へびがうまく赤い花に隠れている。が、1ぴきのサルがずっとへびを見ている。きつとそのサルは、へびを見つけたのだろう。この絵の中に画家は、黄色や赤色などの色をたくさん使っている。でも、おだやかな森に見える。この絵のサルの毛の多さや手足の長さが、まるで本物のように見える所が、すぐれている。この絵はアンリ・ルソー作「猿の居る熱帯の森」だ。この絵には、きつとこんな物語があったのだろう。ジャングルのお深く深い所は、サル達の遊び場だった。しかしある日、一人ぼっちの黒いへびがやって来た。サルは、へびを仲間に入れるのをいやがった。しかし次の日、へびが「ぼくの事、見つけられるかな。」と言っている。その言葉にむっとしたサルは、一日中サルをさがしたが、全く見つけない。出来なかつた。へびに隠れる能力がある事を知ったサルは、へびを仲間に入れて、見つけるまでずっとかくれんぼをして楽しんだ。多分、この絵の最中も、ずっとかくれんぼをしていたのだろう。ぼくは、人々がこの絵を見たら、平和なおく深いジャングルの中で、サル達とへびがいっしょに仲良く遊んでいる、という事を感じると思う。

☆六年一組 「この絵、私はこう見る」

鈴木 涼花

「キーキー」猿が大自然の中で鳴いている。さるたちは、のんびり石の上に座っていたり、木の上ののっている。おっと、へびも忘れてはいけない。この絵のすぐれている所は、猿なのに人間みたくに座っている猿だ。その猿だけを見るとき、石の上に座っている猿だけになぜか品がある。それと他の猿は一緒に遊んでいたりするのに、この猿だけは一人で座ってこちらを見ているから、どこかさみしさを感じる。絵のへびにも気づいたかな。目立たない所にいるが、そのへびの目を見ると、吸い込まれそうだし、かじ動物だけじゃなく、木や葉っぱにも注目してみよう。色がすごいあざやかで立体的に見える。ちゃんと奥まで背景が描かれているのもすばらしい。これは、アンリ・ルソーさんの「猿のいる熱帯の森」だ。私がこの絵を見て想像することは、ある日森に冒険に行つて動物たちを見た、という物語だ。暑い日に一人で冒険に行つたら迷子になってしまい、まよっている動物たちと出会った、ということだ。そして動物と一緒に遊んでいたら、自分が来た方向を思い出して無事に帰ることができた、という物語だ。きつとこの絵を見た人は、おだやかな気持ちになるだろう。こんなにたくさんの緑が使われていて、リラックス効果があるにちがいない。もし嫌な気持ちになつたり勉強が進まなかつたら、一回この絵を見て、すべてリフレッシュさせよう。もしかしたらちがうアイデアがうかんできた時は、これみません。もしみなさんも疲れた時は、この絵を見てリフレッシュしてください。

☆三年一組名前の由来

赤石 悠隼

ぼくは、いままで自分の名前が「スポーツができる」という意味だと思っていました。

多くの名前の由来をお父さんとお母さんに聞いたら、やさしい広い心をもった元気な男の子に育ってほしいという願いがあるそうです。ぼくははじめてそのことを知りました。

「悠」という漢字の意味は、「ゆったりとした様子」で、「隼」という意味は「空を自由に飛び回る」「自由に体を動かす」という意味があります。ぼくはうれしかったです。

ぼくは、「悠隼」という名前がぼくの名前でよかったです。これからこの名前で生きていきたいです。

☆三年一組名前の由来

イレレジ オマサン

多くの名前は、イレレジオマサンジュウ恵です。イレレジは、ナイジェリアの名字です。オマサンジュウは、子供の方がお金より大切」という意味です。オマサンジュウは、お父さんのミドルネームです。恵は日本語の名前です。「めぐみ」と読みます。神様からのおくりもの」という意味です。ぼくの名前は長くて好きです。

恵

☆三年一組名前の由来

片岡 勘太

多くの名前は、かんたです。お父さんとお母さんは、男の子ならこの名前をつけようと考えていました。次にお父さんとお母さんが、どの「かん」にするかを考えました。そうしたらお父さんが、良く物事を考える男の子になってほしいと思ってくれました。

この名前がとても気に入っています。とてもうれしいです。

勘

☆三年一組名前の由来

熊沢 心

私の名前は、心です。私のお父さんとお母さんがつけてくれました。私に心のやさしい人になってほしいという気持ちがかめられているからです。まわりの人に思いやりを持ち、そして、自分の心を大切にしたいという気持ちもこめられています。お父さんとお母さんは、私の名前をひらがなにするか漢字にするかで悩んだそうです。一番大切にしたいという意味で、人間の大切な心の漢字にしてくれたそうです。私は、「心」の名前が好きです。由来のように、「心」のやさしい人になりたいです。

☆三年一組名前の由来

北口 凜佳

私の名前は、北口凜佳です。お父さんとお母さんがつけてくれました。

「凜」という字は、「りんとした」という意味があり、「佳」という字は、「美しい」という意味があります。凜として美しい人になってほしくて、この名前を付けてくれました。

わたしがもつとそうなるようにがんばりたいです。

凜

☆三年一組名前の由来

伊藤 由梨奈

私の名前は、お父さん、お母さん、おじいちゃん、おばあちゃんのみんなで考えたそうです。まずお母さんの名前から「奈」という字を最後につけてもらいました。そして、女の子らしくやさしい人になれるようにと考えたそうです。お父さんの希望で、海外で生活するようになっても外国人から親しまれやすいように、読みやすい名前を考えて、「由梨奈」と名付けられました。それを聞いてうれしかったです。私は、とても自分の名前が好きです。

